

【取組内容①】 「Googleアプリを活用した各種行事（林間学校・学校祭・体育祭）の運営」

## ◆常に最新情報を生徒と教師が共有できるGoogleサイトの活用



↑**第2学年林間学校サイト** 林間学校に関する情報を全て（教師のみ資料を除く）ここに載せた。オリエンテーションの動画や画像が見やすかったという声があった。

↑**体育祭サイト** 要項や演技図、エントリー表などを載せた。昨年の録画映像を入れ、1年生にもどんな競技かをイメージできるようにした。

## ◆スプレッドシートやGoogleフォームを活用した作業の効率化

体育祭の種目エントリーをスプレッドシートで実施した。編集権限を担当生徒と全教員にして、担当生徒が期限までに入力するスタイルにした。また、それをGoogleサイトで誰でも見られるようにして不平等感がないようにした。

行事の反省は、集計・分析をスムーズに行うためGoogleフォームを活用した。各先生方のGmailに直接Googleフォームを送信することで提出率を高くするようにした。

【取組内容①】「生徒会行事（生徒総会・生徒会役員選挙・全校集会等）でタブレット等のICT機器の積極的な活用」

## ◆GoogleクラスルームやGoogle meetの活用①

### ＜生徒総会＞

・生徒総会の要項を生徒会役員が中心となり作成。学活の時間、事前に生徒一人一人が校内ドライブにある生徒総会要項のPDFを「オフラインで使用可」にしておく。当日は、会場（体育館）に生徒が各自のタブレットを持ち込み、タブレットを操作しながら生徒総会に参加した。



### ＜生徒会役員選挙＞



・生徒会役員選挙の立ち会い演説会をGoogle meetを利用したオンライン演説で行った。選挙公報の配信や選挙運動のPR動画等様々な選挙活動にもタブレット等のICT機器を有効活用した。

## リーディングDXスクール事業 【実践事例】

知多市立東部中学校

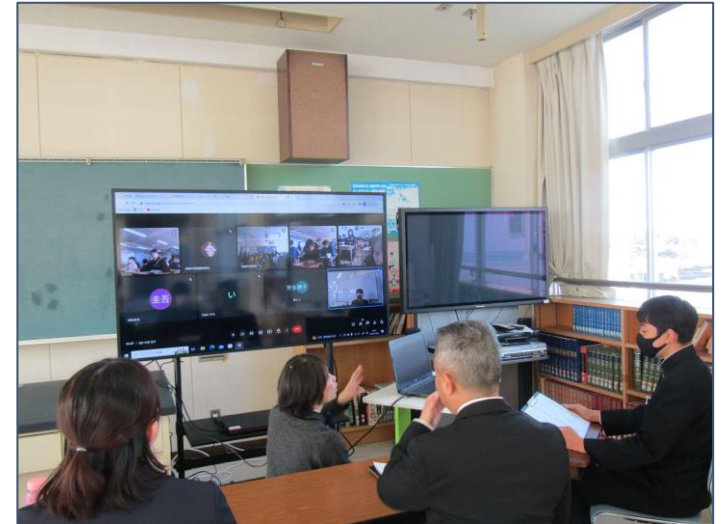
【取組内容①】「生徒会行事（生徒総会・生徒会役員選挙・全校集会等）でタブレット等のICT機器の積極的な活用」

## ◆GoogleクラスルームやGoogle meetの活用②

## ＜学校保健委員会＞

・スクールカウンセラーの先生によるプレゼンテーション形式のオンライン講話が、Google meetを利用して全校配信された。配信画面から「エゴグラム診断」を実施し、生徒は自分がどういうタイプの人間であるのかというアイデンティティを確立するとともに自分と他者との考え方の違いに気付き、自分も相手も大切にすることの大切さを学んだ。

一昨年度の学校保健委員会では、Google meetのチャット機能をを使って、生徒の声やつぶやきをリアルタイムにひろって、画面上で共有した。



## ＜入学説明会＞

生徒会メンバーが製作した  
学校紹介ビデオの一部

- ・入学説明会に向けて、生徒会メンバーが中心となり、学校紹介ビデオの撮影、編集等、製作作業を行い、入学説明会当日、小学生に向けて上映、中学校紹介をした。



【取組内容①】 「技術の授業でプログラミング言語「ドリトル」の活用、数学の授業での振り返りにGoogleフォームの活用」 ①

# ～技術の授業でプログラミング言語「ドリトル」の活用～

## ◆webで無料活用できるプログラミング言語

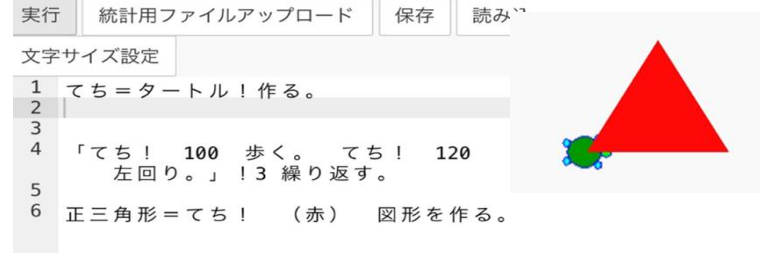
・プログラミング言語「ドリトル」と検索すればすぐ端末から活用することができる。プログラミング言語を使うための教材準備がいらす導⼊が比較的簡単であった。

アニメーション製作、ゲーム製作、イラスト制作など様々なことがプログラミングで行うことができるため、子どものやりたいを表現しやすい教材であると感じた。

## ◆日本語のプログラミング言語で子どもが取り組みやすい

・日本語ベースのプログラミング言語であり、子どもでも頭の中でイメージを言語化しやすく、つまずく生徒が比較的少なかった。

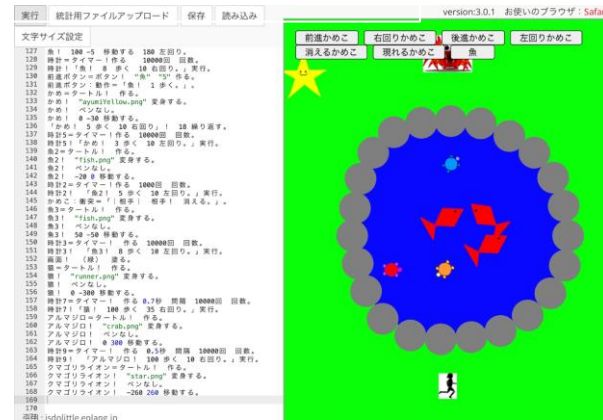
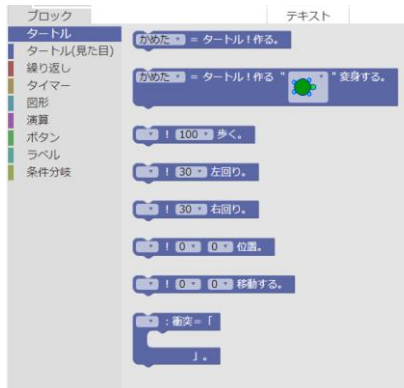
・簡単な線や図形をプログラムをすることで段階的に指導ができる。



## ◆子どものレベルに合わせてブロック型とテキスト型を選択できる

・ ブロック型

・ テキスト型



# リーディングDXスクール事業 【実践事例】

知多市立東部中学校

【取組内容①】「技術の授業でプログラミング言語「ドリトル」の活用、数学の授業での振り返りにGoogleフォームの活用」②

## ～数学の授業での振り返りにGoogleフォームの活用～

◆Googleフォームで振り返りを毎回の授業で行い、スプレッドシートで個別にフィードバックする。

- ・ 授業の内容を簡単にまとめた上で、1時間の授業の振り返りを行う。スプレッドシートで各々の振り返りを蓄積していくことで、これまでの学びの足跡を振り返ることができるようになっていく。

1年 数学 振り返りシート (3章・4章)			
日付	プリントNo	授業内容	振り返り
2023/09/07	052.053	方程式を理解しよう。	以前からやってきたようなことだったから、すぐに理解することができた。例一では左辺のxに5を代入する方法を間違えて指数にしてしまっ引かかった。けれど説明を聞いて代入の仕方を思い出し、解くことができた。問1もすぐにとくことができた。
2023/09/08	054.055	等式の性質を使って、方程式を解こう。	両辺に同じかすを足したり引いたりしてxの数を求めるやり方がわかった。例の問題や学習のまとめ問題も理解して解くことができた。今回の授業今回のように理解できるようにしたい。
2023/09/11	056.057	方程式の性質を使って掛け算割り算の問題を解こう	前回の振り返りに書いたように今回も完璧に理解して、問題を解くことができた。小テストをやる時にも全問正解できるような感じにしたい。
2023/09/12	058.059	移行を使って方程式を解こう。	等式の性質を使って解くよりも移行の方が解きやすかった。二枚目のプリントの次回やる問題は、教えてもらったけれど、まだ少しわからないから、次回の授業でわかるようにしたい。
2023/09/15	060.061	方程式の解き方の手順を理解しよう。	今回は、普段は早く正確に解くようにしているけれど、早くしようとすると間違えそうになりそうだったので、丁寧に一つずつ解いていった。けれど、それでもマイナスをつけ忘れてしまったりしてしまっ。でも、問題の解き方自体はわかったので、今度は、早く正確に解けるようになりたい。
2023/09/21	062.063	分数を含む方程式を解けるようになる。	問1の(1)で、分配法則を使う計算をし忘れて、答えが違ってしまったことに気づいたので、もっと計算をして直れていきたい。
2023/09/22	064.065	Level5までマスターしよう！	レベル6までスラスラと解けるようになった。やっぱりまだレベル6はゆくりととかないと間違えそうなので、一つ一つ丁寧に途中式を解いて、正答率100%になるようにしたい。また、マイナスをつけ忘れる凡ミスをするところがあるので、ミスしないようにしたい。
2023/09/26	066.067	方程式を使って、年齢についての問題を解こう。	言葉の式にしてから方程式にするととてもわかりやすかった。問題の解を求めるところで、やっぱり変な計算ミスをしてしまうので、気をつけたい。解の意味を必ずして、答えが合っているかどうかを確かめていきたい。テストでは、変なミスをして、点数を落とすことのないように確認しながら解いていきたい。
2023/09/27	068.069	方程式を使って、代金の問題を解こう。	数学の問題ノートで今日やった問題を昨日やり方がわからなくて、全然解けなかったけれど、今日やった代金の問題に似ていたもので、すぐできると思う。二枚目の最後の確認問題が解けなくてできなかったけれど、他の問題は理解して取り直しができた。
2023/09/28	070.071	方程式を使って、過不足の問題を解こう。	一枚目の問題はすらすらと解くことができた。ただ、二枚目の(1)の問題で、ドーナツを-2にするのか+2にするのかわからなかった。でも、解説を聞いて理解することができた。これからはわからなくても説明を聞いたらすぐわかって似たような問題を自力で解けるようにしたい。
2023/09/29	072.073	文章から方程式を立てられるようになる！	(1)から(7)までは、方程式を立ててから問題を解くまでスムーズにやることができた解の特殊もやっ。問題の答えが合っているかを確認した。(9)でひっかかってしまっ(9)の問題にはいけなかったけれど、(9)についての解説を聞いて、理解することができた。



- ・ タブレット忘れや充電切れ等にも対応できるように同じフォームを使用。授業日を入力させることで、後日の入力でも授業順に並ぶようになっている。

## 【取組内容③】 「タブレット端末の日常的な取り扱いの充実のための情報モラル教育」

## ◆ちた市GIGAワークブックや知多市情報活用能力体系表の活用等による実践的な情報モラル教育の推進

・ 知多市で作成した情報モラル教材である「GIGAワークブック」の中の情報教育の授業展開例を各担任が参考にして、学活や道徳の時間に活用している。また、市が作成した「情報活用能力体系表」の各項目を授業実践内容や評価の観点に生かし、日頃から学年、学級の実態に応じて指導している。



知多市情報活用能力体系表（中学校用）



## ＜情報モラル教育講演会＞



・ 1月29日（月）に本校の体育館にて、一般財団法人ソーシャルメディア研究会チーフ技術指導員の竹内義博氏をお招きして、情報モラル教育講演会を実施した。「スマホ時代の子どもたちのために～被害者にも加害者にもならない～」をテーマに、全校生徒が講演会に参加した。

講演の中では、生徒同士で話し合ったり、事例を自分事として深く考える場面があり、ICTの日常的な使用について、再度、振り返ることができた。

## リーディングDXスクール事業 【実践事例】

知多市立東部中学校

【取組内容④】「校内の情報交換を容易に、かつリアルタイムで情報交換するためのGoogleチャットの活用」

## ◆Googleチャットに学年、部会等の組織毎のスペースを作成し、タブレット上で情報交換を実施

- ・朝の打ち合わせでの連絡を情報共有、授業時の体調不良生徒について保健室と連携、生徒指導対応など、様々な情報交換や連絡をリアルタイムで行う。

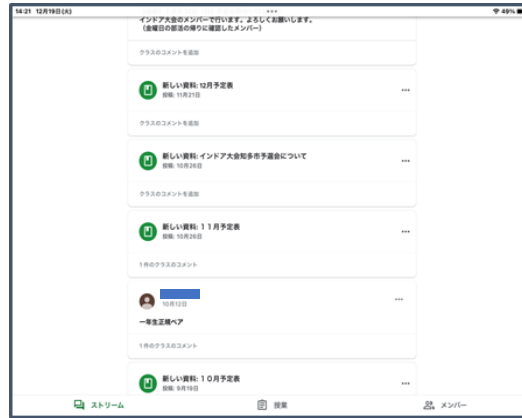
- ・時には、校内の破損（危険）箇所の写真や学年集会等の資料を添付し、詳細な内容をつかむ。



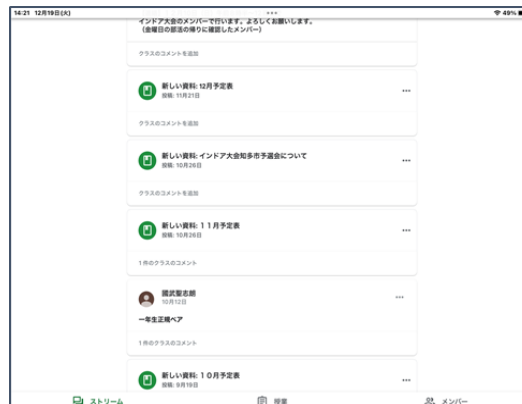
- ・名古屋班別分散研修では、各教員がタブレットを現地で活用した。学校、現地本部教員、各チェックポイントの教員が同時に情報を共有。緊急時には、リアルタイム情報が同時に把握でき、本部や学校からの指示も一斉送信が可能となり機能を発揮した。

【取組内容④】 「部活動の連絡ツールとしてGoogle クラスクームの利用」

- ◆ 日常での活動予定や持ち物、休日の天候による予定変更や大会日程などの連絡、欠席連絡ツールとして利用  
～バスケットボール部（女子）～



～テニス部（男子）～



・ 本校では、全体の5割程度の部活動がGoogle クラスクームを使って、部活動連絡や大会日程表等の配付物の送信を行っている。

特に、休日の悪天候による予定変更の連絡や各種配付物のペーパーレス化に役立っている。

（R4年度より利用開始している）



【取組内容④】 「タブレットを活用した公開授業の授業研究協議会」

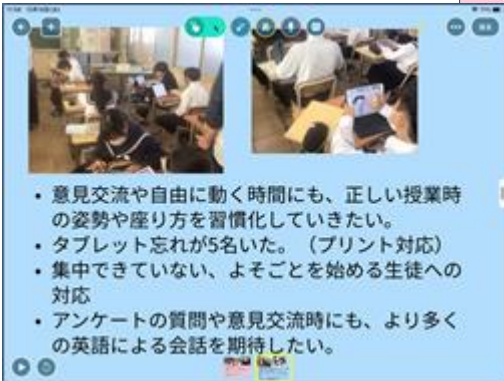
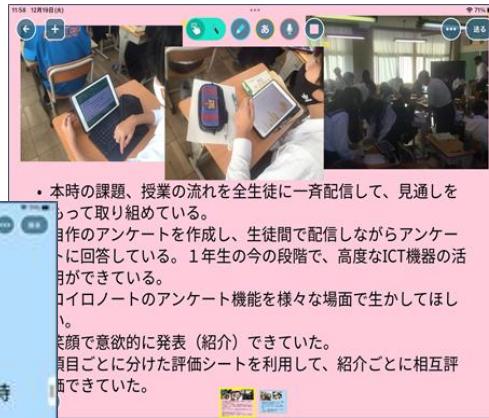
◆年間の1人1授業に対して、授業を録画。校内の共有フォルダへ保存する。各教諭は各自の時間を使って録画授業を視聴。学習支援ソフトの提出箱に視聴した授業の良かった点、改善点などを色別のカードにまとめて提出する。

- ・ 現職主任が各教諭の公開授業の日程を一覧表にまとめ、授業参観後のカード提出箱(全職員分)を学習支援ソフトに設定する。
- ・ 教務主任、同教科の教諭は、録画ではなく、できるだけ参観の形がとれるよう、事前に時間割変更等をしておく。



- ・ 各授業に対して、現職のテーマに沿って、「見方・考え方」の観点も含めた授業展開の工夫について、良かった点を青色カード、改善点を赤色カードにまとめ、提出する。授業者、全職員がいつでも閲覧でき、これらのカードを年間の現職のまとめに活用する。

提出箱に提出した色別カード



【Googleフォームで同様の形式を調整している】

## リーディングDXスクール事業 【実践事例】

知多市立東部中学校

## 【取組内容⑤】 「実践内容を動画・写真、研修のオンライン公開などにより地域内外に普及」

## ◆知多市サイトへ本校の取組を掲載 ～Googleサイトの機能を活用～



- ・リーディングDXスクール事業への指定校・協力校が、知多市教育委員会が開設した知多市サイトへ、各校の取組を定期的に掲載している。

## ◆学校HPにて授業実践等の掲載

## ＜Google チャットの利用開始の記事＞

- ・より対話的で深い学びにつながるよう、生徒向けのGoogle Chat機能を解放し、学習場面での活用によりコミュニケーションの活性化を図っている。学校HPに掲載し、教員のみならず保護者に対しても取組状況を発信している。

